

当科で脳梗塞/一過性脳虚血発作の診断で入院加療された患者さんの  
医学情報の研究利用について

2018/11/26

青森県立中央病院 脳神経内科 上野達哉、富山誠彦

青森県立中央病院脳神経内科では、このたび「青森県立中央病院における脳梗塞急性期診療におけるドクターヘリ搬送の有用性の検討」に関する研究を実施します。研究内容は、当院へ入院された脳梗塞または一過性脳虚血発作の患者さんになります。患者さんの医学情報を後方視的に解析し、ドクターヘリ搬送にかかる事項について統計学的検討を行うことです。ドクターヘリの搬送により発症から来院までの時間が短縮されることが予測されます。これによって脳梗塞急性期に使用される血栓溶解療法や血栓回収療法といった治療の選択肢が増え、より良い治療を行うことができる可能性があります。この検討は、当院での脳梗塞急性期治療がドクターヘリ搬送による影響を受けているのかどうか検証することを目的にしており、これから発症する脳梗塞患者さんの治療成績向上に役立つと想定されます。何卒、ご協力をお願い申し上げます。

対象となるのは、2014年4月～2018年3月までに、脳梗塞または一過性脳虚血発作の診断で当科へ入院となった患者さんです。検討項目は、性、発症年齢、ドクターヘリの利用、発症から来院までの時間、脳梗塞病型、脳梗塞の症状、画像所見、入院経過中のバイタルサイン（血圧や体温など）、血栓溶解療法使用の有無、血栓回収療法の使用の有無、入院日数、最終転帰などあり、個人が特定される情報は扱いません。このため、個人情報保護は保護され、個人が特定されることはありません。研究期間は、2018年8月～2019年5月までには終了したいと考えています。今回の検討で得られた結果は、脳梗塞急性期治療に従事する医師に提供するため、関連学会、国際医学雑誌に発表予定です。本研究の調査対象となる患者さん、および保護者の方で、研究に同意されない方はお申し出下さい。この件につきまして、ご意見ご質問などございましたら、下記研究責任者までご遠慮なくお尋ねください。このお知らせは、本研究の実施期間（2018年8月～2019年5月または研究終了時まで）において、青森県立中央病院のホームページ上で掲示します。

研究責任者

青森県立中央病院 脳神経内科 上野達哉、富山誠彦

電話番号 017-726-8111